

瓦解

郵便不正事件

下

「検察官が厚生労働省元局長、村木厚子被告が関与したとのストーリーを描いて取り調べたと認められる」。5月26日、大阪地裁の横田信之裁判長は、検察側が証拠請求した捜査段階の供述調書のうち、主要なものを却下した。偽証明書を作成した厚労省元係長、上村勉被告(40)が「村木さんに指示された」と認めた調書も含まれていた。

密室のメモ次々「廃棄」

オリープに小さな実がつき始めた初夏の小豆島(香川県)。4月に就任した塩田幸雄・小豆島町長(58)は先月下旬、眼下に瀬戸内海が広がる観光ホテルで重い口を開いた。塩田町長は、偽証明書

「本当のこと知りたい」

たり取り調べを受けた。取り調べはいつも同じ内容だった。巨漢の若い検事は「石井(石井一・民主党参院議員)から証明書を発行するよう頼まれ、村木に便宜を図るよう指示したはずだ」と追

話す。関係者を聴取する中で村木被告の存在が浮かび上がり、捜査現場に「まさか」という雰囲気

この事件の公判では、取り調べをした検事6人が証人出廷した。取り調べ中に使ったメモやノートについて問われ、6人

判決は9月10日午後2時、大阪地裁で言い渡される。(この連載は、日野行介、林田七恵、玉木

が作成された04年6月当時、厚労省障害保健福祉部長の地位にあり、村木被告(54)当時課長の上司だった。昨年の大阪地検特捜部の捜査で自宅を捜索され、十数回にわ

「検察は現職キャリアをあるし慎重に調べた」と判断しなくてはならぬ

て思っていない。上村被告が単独でやった可能性もあるし慎重に調べた」と

録は残しておいた方がい

全員が「廃棄した」なんて、上司の指示か、嘘としてか思えない」と苦笑した。

られた。塩田町長は「部長の時は政治家との窓口だったし、日ごろから何でも村木さんに相談していた。記憶にはないが、

証明書の件でもやりとりしたのかなあと認めてしまった」と悔やむ。

塩田町長は公判で、石井議員の口添えと村木被告への指示を否定した。

村木厚子被告は残している。特捜検事は残している。



障害者施策について講演する塩田幸雄・小豆島町長(左)香川県土庄町で6月27日、玉木撮影(右)郵便不正事件の最終弁論で、大阪地裁に入る村木厚子被告(大阪府北区)同日午後1時11分、貝塚太一撮影